

こうふ町 議会だより

にゅら
おめでとう



江府小学校入学式

議会の映像化を実現17P

平成29年度予算2P~4P
予算の審議5P~6P
一般質問10P~15P
私のひと言18P

江府町未来計画・地方

創生総合戦略の実施へ

平成29年度予算一般会計31億8千万円 前年対比94%

項目	29年度	28年度	増減	説明	
歳入	地方交付税	12億1,500万円	12億4,500万円	△3,000万円	国からの交付金
	町税	6億9,878万円	7億1,421万円	△1,543万円	企業、町民からの税金
	県支出金	3億7,839万円	4億3,362万円	△5,523万円	使用が特定された交付金
	町債	3億990万円	3億9,580万円	△8,590万円	町の借金
	国庫支出金	1億7,063万円	1億6,853万円	210万円	使用が特定された交付金
	繰入金	1億5,780万円	1億9,040万円	△3,260万円	基金からの繰り入れ
	その他	2億4,950万円	2億2,244万円	2,706万円	使用料、繰越金、財産収入等
	合計	31億8,000万円	33億7,000万円	△1億9,000万円	
歳出	人件費	6億6万円	6億2,787万円	△2,781万円	職員、議員の給与
	補助費等	5億9,164万円	7億1,253万円	△1億2,089万円	三町衛生施設組合等補助金
	物件費	5億6,398万円	6億984万円	△4,586万円	業務委託料、賃金、備品等
	公債費	3億9,425万円	4億71万円	△646万円	町の借金返済
	繰出金	3億7,882万円	3億8,871万円	△989万円	特別会計等へ繰り出す金額
	建設事業費	2億3,657万円	2億1,779万円	1,878万円	小学校屋根、道路等の改修
	扶助費	2億3,472万円	2億3,490万円	△18万円	医療費、子ども手当等
	維持補修費	1億2,380万円	1億4,566万円	△2,187万円	道路、建物等の維持費
	その他	5,616万円	3,199万円	2,417万円	積立金、貸付金等
	合計	31億8,000万円	33億7,000万円	△1億9,000万円	

平成29年度3月定例会は3月6日から24日までの19日間の日程で開催した。

本年度の一般会計及び特別会計予算・条例制定等44議案について、慎重審議し原案通り可決した。6名の議員が一般質問を行った。

白石町長にとって初の予算編成となるが、地方創生総合戦略とそれに基き策定された江府町未来計画の施策を実行する予算となっている。特に人口減少対策として、子育て世代に対する施策を中心に編成されている。

懸案だった庁舎は、平成32年度末までに旧中学校跡地に建設することに決定した。

平成29年度当初予算における基金残高は11億6千万円、一般会計の起債残高は40億9千万円となっている。

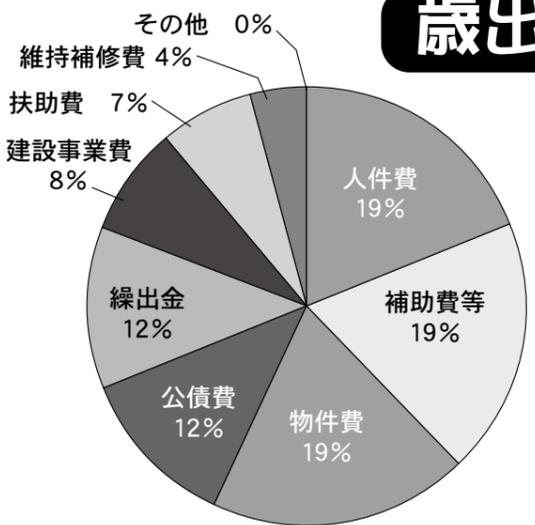
平成29年度予算主なもの

- し尿処理施設清化園建設負担金 12,079万円
- 空き家活用事業お試し住宅整備等 571万円
- 地方創生ふるさと応援事業（そばの生産拡大） 800万円
- 大山開山1300年祭（御机茅葺屋根再生） 486万円
- 地域おこし協力隊新規4人計8人 3,273万円
- 地籍調査事業川筋地区、杉谷地区 8,200万円

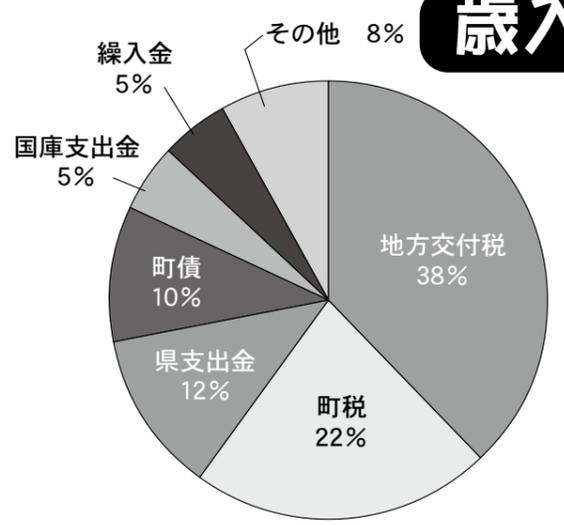
平成28年度補正予算主なもの

- 大雪による除雪費委託料 3,880万円
- スキー場赤字補填 2,000万円
- 豪雪緊急支援 300万円
- 介護施設あやめ 介護老人保健施設費 505万円
- 地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金 233万円
- 江府町庁舎建設基金費（積立金） 2,000万円

歳出



歳入



特別会計(15会計)

総額 19億6,940万円
(対前年比 1億3,478万円)

特別会計	29年度	28年度	増減	繰入金
住宅新築資金貸付事業	122万円	92万円	30万円	
国民健康保険（事業勘定）	4億3,527万円	3億8,687万円	4,840万円	1,537万円
国民健康保険（施設勘定）	2億2,305万円	2億5,865万円	△3,560万円	2,874万円
介護保険事業（保険事業勘定）	5億7,283万円	5億9,074万円	△1,791万円	8,296万円
介護保険事業（サービス事業勘定）	212万円	209万円	3万円	
介護老人保健施設あやめ	5,606万円	5,270万円	336万円	1,576万円
後期高齢者医療	4,862万円	4,907万円	△46万円	1,931万円
索道事業	7,950万円	7,980万円	△30万円	
簡易水道事業	2億8,060万円	9,502万円	1億8,558万円	5,133万円
農業集落排水事業	1億4,761万円	1億6,146万円	△1,385万円	7,659万円
林業集落排水事業	611万円	679万円	△68万円	452万円
特定環境保全公共下水事業	1億 751万円	1億3,978万円	△3,226万円	3,667万円
江尾財産区	253万円	256万円	△3万円	
神奈川財産区	170万円	234万円	△64万円	
米沢財産区	468万円	583万円	△115万円	
合計	19億6,940万円	18億3,462万円	△1億3,478万円	3億3,124万円

平成29年度主な事業

江尾診療所機器更新

- ・歯科診察台 480万円
- ・歯科コンプレッサー 150万円
- ・その他 286万円

介護老人保健施設あやめ

- ・介護サービス送迎車購入
2台 975万円

介護保険事業

- ・生活支援コーディネーターを配置
- ・認知症地域支援推進委員を配置
883万円



江尾診療所歯科

俣野地区水道統合整備事業

- ・俣野地区の配水池、配水管、電気設備の整備 1億7,500万円

江尾地区と川筋地区下水道統合

- ・川筋地区の処理場を廃止し合理化を図るもの 3,420万円

予算の審議

一般会計

総務課

Q 役場の職員数は？
将来的には減らしていくのか。

A 現在の72名です。事業見直しで調整します。

Q 投票率を上げる施策は？

A 期日前の移動式投票所の検討や若年層への啓発に努めます。

Q 老朽化した消防車の更新は。

A 20年経過しています。2〜3年後に更新の予定です。

Q エレベーターの保守点検料が例年多額に計上されているが、使用状況は？

A あまり利用されていないようです。今後、検討する余地があると考えています。

住民課

Q 過疎バス対策は？

A 今後は計画的に小型化する。併せてタクシー助成の充実を図りたい。

Q 町営住宅江尾団地が老朽化しているが。

A 解体を予定している。

奥大山まちづくり

推進課

Q 集落支援員とはなにをするのか。

A 職員が数人でチームを作り集落点検、空き家の状況、農地等の状況を調査するが、その際にアドバイスやサポートを行う。

Q 大山開山1300年祭で江府町に観光客を呼び込むための対応は？

A 木谷沢の橋の改修と御机の茅葺小屋の改修を予定している。

Q エバーランド奥大山スキー場の運営は。

A 天候に左右され2年続けて赤字となった。第1リフトの建替も迫る中、抜本的な検討を行いたい。

Q 企業誘致の取り組み状況は？

A 関西の企業を中心にPRしている。数社から問い合わせも来ている。



町営住宅（江尾団地）



トワイライトエクスプレス瑞風

Q トワイライトエクスプレス瑞風が江尾駅に停車するが対応は？

A 歓迎看板の設置と「ごだいちおどり」で歓迎する予定。

福祉保健課

Q 障害福祉サービス事業開設補助金とは。

A 尚仁福祉会が行う障害福祉サービスに対して開設補助金として出しているものです。

Q 福祉保健課が子育て相談窓口になっているが教育委員会の対応がいいのでは。

A ワンストップで連携しながら対応していきたい。

農林産業課

Q 江府町野菜等振興補助金とは？

A 白ネギ、ピーマン、トマトの苗代、種代を補助します。

Q 新しい農業委員会のあり方は？

A 任期は29年7月20日から3年間となります。農業委員が10名。

農地利用最適化委員が5名で組織し、地域のバランスをとりながら全体農業の振興をはかっています。



エミーズカフェ



特別会計

国民健康保険

Q 国保事業基金の残高はいくらか。

A 現在残高は7800万円となっております。

Q 国民健康保険の被保険者数の世帯と世帯員はどのくらいか。

A 被保険者数は世帯が378世帯で世帯員は590人で少しずつ減少している。

Q 糖尿病の予防対策に体育館の運動施設を活用すべきではないか。

A 色々な病気の予防や健康対策としてウエルビクスやセラバンド体操等を取り入れている。体育館の施設については整備して活用したい。

江尾診療所

Q 医師・看護師の補充体制はどのようになっているか。

A 医師は常勤1名と鳥大からの派遣で運営できている。看護師は正看護師1名であり、1名の増員が望ましい。

介護保険

Q 介護予防普及啓発事業とは。

A 運動機能向上・口腔機能向上・低栄養予防・認知症閉じこもり予防などの推進を行っている。

後期高齢者医療

Q 後期高齢対象者は何名か。

A 75歳以上の後期高齢者の対象は全体で870名です。

Q 後期高齢者の一人当たりの医療費はいくらか。

A 約60万円です。

介護老人保健施設 あやめ

Q 介護老人保健施設あやめの運営協議会の設置を検討されたい。

A 尚仁福祉会と協議し、早急に設置できるよう協議します。



ふれあいサロン（あいきょう神奈川内）

一般会計

予算特別委員会 参考意見

平成29年度の江府町一般会計予算は31億8000万円で平成28年度予算額に対し前年比94・4%、金額にして1億9000万円減となっている。主な新規事業として集落支援員配置事業、地方創生ふるさと応援事業、江府町野菜等振興補助金等があげられるが全般的には緊縮型予算である。

総務課

(1)選挙ポスター掲示板の設置場所が75か所から57か所に減り、投票率を上げる対策として期日前投票において移動式投票を検討されているとの事であるが先進地を参考に成果が上がるよう努力されたい。

(2)公設学習塾の案内説明会を早めに開催し、広報にも努められたい。

(3)小地域懇談会は継続することが大切で研修テーマをよく検討し、出席者が増えるよう努力されたい。

住民課

(1)町内バスの小型化と合わせて、タクシー助成についても待ち時間の解消等利便性が図られるよう検討されたい。

(2)昨年の町内事務調査の時に学校より要望があつた江尾上町のバス待合所については、早急に設置されるよう検討されたい。

奥大山まちづくり推進課

(1)ふるさと納税で寄付を頂いた方に返礼品として江府町に来ていただく仕掛けを検討されたい。

(2)地域振興券は町内での消費の循環に繋がり、地域の活性化に寄与するので継続することが大切である。地域振興券の更なる活用方法を商工会と検討されたい。

(3)大山開山千三百年祭事業で、江府町に観光客を誘致できるように努力されたい。

(4)企業誘致については大きな企業は難しいと思われる。協力隊も含め小さな起業にも目を向けて対応されたい。

福祉保健課

(1)診療所の改修を検討されたい。(スリッパに履き替えなくても良いように)壁等も計画的に改修されたい。

(2)社会福祉協議会の事業内容に配慮して運営補助金の増額を検討されたい。

農林産業課

(1)新規事業で江府町野

教育委員会

(1)学校のトイレの洋式

菜等振興補助金が創設されたが対象がJAの生産部会に所属する会員に限定せず一般の生産者にも補助対象とするよう検討されたい。

(2)間伐事業やナラ枯れ対策を検討されたい。

化を年次計画で迅速に進められたい。

(2)町内に多数ある文化財の案内看板の補修、点検を含め、周辺整備を検討されたい。

(3)体育館のトレーニング室の活用を検討されたい。



導入されたUDタクシー

特別会計

国民健康保険 (事業勘定)

平成30年度目途に県下統一の保険税が適用されるが、平成29年度は県の平均に近く、保険税の改正はしない方向です。事務の効率化等のメリットを最大限生かす努力をされたい。

国民健康保険 (施設勘定)

①電子カルテを導入して、移行作業に手をとられて、患者さんを待たせない工夫をし、合理的体制づくりを構築されたい。
②江尾診療所の有り方委員会にて検討された、事務長的職員の配置については早急に、人材を確保して体制づくりに努められたい。

介護保険事業 (保険事業勘定)

①要介護認定者1335名の内65歳～75歳464名・75歳以上871名
②施設入所者(江府町)江美の郷35名・あやめ47名 合計82名

介護老人保健施設 (あやめ)

①施設開設以来、使用してきた介護サービス送迎車の更新をする。新しい送迎車を導入することによって、施設利用者の安全・安心の対策をされ利便性の向上を図られたい。
②尚仁福祉会に対する行政・議会の関与について、指定管理先の評議員等でしっかりと監督できる体制づくりをして頂きたい。

索道事業

①スキー場の作業員の雇用状況は、リフト・

特定環境保全 公共下水事業

①川筋農業集落排水と特定環境保全公共下水との接続工事は平成28年度繰越明許費を平成29年度に発注し、29年

度中に速やかに工事を完成させて頂きたい。
②公共下水の接続率は平成28年3月31日現在で90・2%の状況です。

農業集落排水事業

更新時が迫ってきているが、財政上の観点からも検討して、より良い方向性を出して頂きたい。

合併槽の普及率は60%であり、未設置集落は栗尾・深山口・大満・仲屋・美女石・大河原の一部です。今後は集落の要請によって設置されることを望みます。



チロル クリーンセンター川筋

町政ここを問う

一般質問

一般質問は6人の議員が行い、町長の方針をたじた



上原 二郎

在宅育児手当を 実施すべきでは

問	子育て世代に 応援を
答	早急に 検討したい

町村は実施するようですが「3000人の楽しい町」実現のためにもすぐに実施できるよう取り組むべきだが町長の考えを伺います。

の声を聞きし制度導入について早い段階で先に進めていきたいと考えています。

問	町づくり 住民参加を
答	絶対必要と 考えている

町づくりは、住民と一緒に課題を見つけて解決する集落総合点検事業を考えています。その中でご指摘の集落支援員を、新年度から1名非常勤職員として配置します。

質問 現在江府町は、鳥取県内でも先進的な「保育料完全無料化」を行っています。この制度は、若い世代にこの町に残ってもらいたいという想いを込めて出来たものです。又、「子育て王国」を謳う鳥取県は、平成29年度から「在宅育児手当」を実施したいと発表しました。これは自宅ですべてをやる家庭に一人当たり月に3万円支給、支給の期間は生後8週間後から1歳までの10か月で半額を県が補助するものです。江府町を除く県内の他

町長答弁

新年度の行財政方針で述べましたように、「江府町未来計画」の中でも「子供が健やかで子育てが楽しい町」を1番に挙げあり、そういった環境を整えることは必要不可欠と考えています。

9月議会での上原議員の一般質問でも同じ趣旨の質問に住民の声を聴き検討したいと答えています。

県の制度が決まり他の町村の状況もわかってきた中で、保護者や関係者



動画で一般質問



上原議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

町長答弁

集落担当を実際に動かしていくと言われましたが、現在どのような状態になっているか伺います。

質問 今、人口減少、少子高齢化といった今までは全く異なる時代に突入し財政の縮小は避けられません。公共サービスを今まで通りやって行けるのか、負担はどうなるのか、将来を見据え住民に示し、自分たちの町はどうあるべきか住民も一緒になって考え、汗をかく必要があると考えています。

県内の他町でも取り入れている総務省の「集落支援員」という制度を活用し住民の行政参加の仕組みを作ったかどうかを考えます。また、職員

江府町教育大綱とは



三好 晋也

動画で一般質問



三好議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

問	学校地域家庭の連携について
答	コミュニティスクールを立ち上げる

質問 このたび江府町教育大綱が示されたがこの大綱の中で、現状と課題として、教育の原点は家庭教育だとはつきりうたっている。主な取り組みとして家庭教育の充実、親育ちのための研修と啓発に取り組むとなっている。私はこれが一番大切で一番難しいことだと思っています。

平成18年の改正教育基本法に家庭教育と幼児期教育の重要性が新設されました。教育は学校で突然始まるものではありません。その出発点は家庭

であります。三つ子の魂百までと言われるように、学校以前の幼児期に人格の基礎が形成されます。家庭内において、両親はわが子を将来立派な社会人になるためのマナーや規範意識、義務と責任を果たすことなど、道徳心を身に付けるよう教えるのが親の大切な使命であると思います。それこそが学校教育の成果を上げるための前段階として、家庭が子供の健全育成の場となると思うが、この江府町教育大綱に魂を入れるために何を実行するのか伺う。

教育長答弁

三好議員のお話のように教育基本法の第10条一項の規定の通り、子供の

成長の第一義的責任は保護者にあり、家庭教育の大切さは世の認めることとあります。一方、一般論として、現実には核家族化、少子化、社会構造の変化など、家庭をめぐる状況の変化に伴い、親の過保護、過干渉、育児不安やしつけへの自信喪失等により、望ましい家庭教育は行われていない現状もあるという風に認識している。これまでも町教育委員会では、望ましい家庭教育が行われるよう、青少年育成町民会議あるいはPTA事業へ支援したり、教育相談室あるいは子育て支援センターの設置、運営、またスクールの設置、活用など、

カーの配置、活用など、様々な取り組みを実施しており、一定の成果があったと感じている。また、家庭への支援については、地域の役割が大変重要とかがえている。地域に支えられ、親は孤立感や不安を解消し、多くの事を学びます。

そういったことから、平成29年度から、地域と共にある学校づくりを実現するため、コミュニティスクール導入促進事業を実施し、地域と家庭とのかかわりを強化するとともに、地域、家庭の教育力を学校に生かす取り組みを推進する予定である。



江府小学校授業風景

町民と一体化の町づくりは



三輪 英男

動画で一般質問



三輪議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

問	江尾町中の除雪対策について
答	意見集約をして対策を

質問 記録的な大雪のため江尾町中の除雪対応は地域住民に大変不便をおかけし、取分け江尾診療所に行かれる患者さんからは行政のひと工夫があつてしかるべきこの声を頂いております。

町長答弁

この度の大雪により、江尾の町は診療所とかJRそして役場等があり町民の方に大変ご不便をおかけいたしました。江尾の大区で意見を集約してその上で、町として除雪対策を構築したいと考えております。

問	せせらぎ公園の多目的活用は
答	公共施設のあり方を議論

質問 江府町の町民の憩いの場「せせらぎ公園」はグラウンドゴルフ以外



せせらぎ公園

にも利用して頂くための整備が必要ではないでしょうか。例えば、藤棚付近を改修されて、保育園児の憩いの場として活用して頂き、自然との共生から得るものが、保育園児の夢の始まりになると思うが町長の考えを伺います。

町長答弁

せせらぎ公園に限らず、全体についてどうやっていくかを考えていく必要があると思っておりますので、そういった議論を

問	「庁舎建設問題」について
答	議会の議決を受け次の段階へ

いたしますときに、是非そういった御意見が上がると思いますことを期待しております。

質問

住民説明会を二度経て町民のコンセンサスがそれなりに得られたと考えられるので、財政的裏付けをあきらかにされながら、時限立法の有効期間内の完成に向けたアクションを起こすべきと考えますが、町長の見解を伺います。

町長答弁

この老朽化した庁舎の建て替えに係る地方財政措置のある事業がある間には実施する必要があらんではなからうかと考えております。庁舎等調査特別委員会におきまして、整備場所の提案をいたしますので、ご理解を頂きますとら次の段階に進みたいと考えております。

問	江尾診療所の公営企業化は
答	結論は今一つ先に

質問 白石町長が就任時に掲げられた構想です。結論は少し先といわれておりましたが、職員身分保証・医師の安定化・経営の機動性を柔軟に対応できることと御答弁されました。現在もこの考えに変更なく将来的に実施するお考えでしょうか伺います。

町長答弁

いろいろなメリット以外にデメリットもあるということを含め、細かく議論してるところでございます。結論は出ていません。当面、事務長の役割を担当する専任の職員を配置して、人材の確保とか経営面の改善には取り組んでまいりたいというふうに考えております。

江府町を1,000分の1の縮尺で 生活と財政をみると



竹茂 幹根

動画で一般質問

竹茂議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

問	江府町家の現状は
答	まだ健全である

質問 江府町は、世帯約1,200、人口約3,000、高齢化率44%、予算規模30億円、負債70億円等の諸状況を1000分の1に縮めると江府町は戸数1戸で家族3人です。老人1人、働き手1人、子供1人の家族状況で年間収入が300万円での年間生活です。負債の約70億円は700万円です。

又、右の手で4億の借金を返済し左の手で町債として4億を借金している。これは財政の自転車操業ではないか。又、町

長は、この江府町家の現状をどう捉えているか伺う。

町長答弁

町の財政を家計に例えて言われましたが、これは住民の方には、わかりやすい方法だと思いが、家計における借金がどれくらい影響を及ぼしているのかということを示すのであれば借金総額ではなく毎年の返済額、いくら返していくのかというのを示すべきだと考えます。収入が318万円に對して借金返済額は39万円収入の約12%で、まだ財政は健全であり、自転車操業には至っていないと思っております。

問	財政状況と庁舎整備について
答	整備は必要と考える

質問 町長は、平成30年度には、庁舎整備について着工したいと表明されている。今の経済情勢、また10年20年後を想定した中で本当に10数億もの金をかけて新庁舎が必要だろうか、という声があり、庁舎新築に多数の住民の方が反対の意志をもっている。町長には声が届いていないか。町長に再度庁舎建設必要性について見解を伺いたい。

町長答弁

住民投票の件については、これは庁舎等調査特別委員会でも答えましたが庁舎整備は行政の責任

町長答弁

質問の中に反対の声があると言われるが根拠がよくわからない。また私の耳には届いていないのが現状です。その上で庁舎整備の必要性について答えます。

この庁舎は、もう60年もたっていて耐震構造でなく整備が必要です。



60年経過した現庁舎

で提案しているので住民投票はしないということですが。本当に住民投票が必要だという判断をされたのであれば、有権者の50分の1以上の署名を集めて向ったらどうか。庁舎問題、スタートしています。何か月も期間があったにもかかわらず、そういう動きは全くなかったんじゃないかなというふうに思います。

移住・定住対策と人権同和対策について



川端 雄勇

動画で一般質問



川端議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

問	サテライトオフィス開設による移住・定住対策は
答	県の補助金等を活用し積極的に推進したい

質問

人口減少に歯止めをかける移住定住対策は喫緊の課題であり、本町も県移住定住交付金を活用し、いろいろな事業を行ってききました。しかし移住定住に繋がる実績がまだ上がっていないのが現状であります。今、ITベンチャー企業を対象に遊休施設や空き家を活用したサテライトオフィスを開設し大都市にある会社のサブ会社としてその会社の社員や家族に定

住していただく、サテライトオフィス事業が全国的に注目を浴びております。

このサテライトオフィスの開設には高速インターネットの整備と事務所を設置する遊休施設、そして豊かな自然があることが条件であると云われています。本町もこの条件を十分に満たしており、この事業を積極的に取り組んで移住定住対策に繋げるべきと考えますが、町長の所見を伺う。

町長答弁

人口減少社会に突入しました。それを何とかしようということで移住定住対策は非常に重要だと思っております。そのための大きなポイントは仕事

問	法律の理念を踏まえ本町の取り組みは
答	町民意識調査の結果を分析し一層努力する

だと思えます。本町はインターネット環境は快適であり、自然環境にも恵まれています。又小学校の空き校舎、あやめ館などたくさん遊休施設もあり、そして県の里山オフィス開設支援事業補助金制度もあり、これはIT、ベンチャー企業向けの支援制度であり、この支援制度を活用してIT企業を誘致し、新たな雇用の場を生み出すことは非常に有効な手段だと認識しており、移住定住に繋がるように積極的に推進したいと考えています。

質問

昨年の臨時国会で部落差別の解消の推進に関する法律が成立しました。この法律の目的は現在もなお部落差別が存在

することにも情報化の進展に伴ってインターネット等による差別事象が増えていることを踏まえ、これを解消する為に、国及び地方公共団体の責務を明らかにし、部落差別の解消を推進し、部落差別のない明るい社会を実現することを目指してまいります。今回のこの法律の目的を踏まえ本町の取り組みについて町長の所見を伺う。

町長答弁

本町におきましては、部落差別撤廃とあらゆる

差別をなくする条例を制定しまして今まで必要な施策を推進してきたところであります。毎年小地域懇談会、たんぼぼ学級人権同和問題研修会など教育と啓発活動を行っております。新しくできた法律の趣旨を十分に踏まえながら、本年度実施いたしました、同和地区実態把握調査、同和問題に関する町民意識調査の結果をしっかりと分析活用して部落差別が解消されるよう今後一層力を入れて推進してまいります。



人権同和研修会

本町農業の将来展望は？



長岡 邦一

動画で一般質問



長岡議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

問	答
本町農業の 今後は	できるだけ 集落宮農に

質問

町長は行財政方針で農業については集落が維持できるような集落宮農等を推進するための取り組みを支援することにも、奥大山農業公社の体制の充実を図りますと述べられています。

農業公社が充実されるとなると集落宮農の取り組みが遅くなりはいませんか考えますがいかがでしょうか？

水稲だけでは飯が食える専業農家にはむずかしいですし、かといって収益性の高い専業農家になると集落全体の農地を管



春を待つ宮市田んぼと奥大山

理していくのはむずかしいと思います。

本町農業の今後について、一番基本となる「人・農地プラン」はどのような状況か伺います。

また、農業関係の移住定住者をどのようにして推進されるのかも伺います。

町長答弁

できるだけ集落宮農に向けて頑張っていた方向に持って行きたいと考えていますが、農業公社は当面、そこに至るまでの下支えと考えています。

プランについては総合集落点検をやる時に農業単体で考えるのではなく、それぞれの集落をどうしたいのかということから入って、プラン作りにも関われないかといった移住定住を絡めた全体的話で持って行けないだろうかと考えています。

問	答
保育料の無償化はいつまで	平成31年までは継続したい

質問

保育料の無償化を今年度も引き続き行うと述べておられます。3月8日付日本海新聞で鳥取市長は第1子からの保育料無償化はしないとあり、完全無償化は本町と若桜・日南の3町だけの報道でしたが、いつまで実施されるか伺います。

町長答弁

平成27年9月に制定した江府町まち・ひと・しごと総合戦略の中に保育料軽減を拡充するという形で位置づけられており、その期間が平成31年までですので、そこまでは継続させて頂けたらと思います。そこからはまた事業を考えていけたらと考えています。



すこやかに育っている園児たち

第2回臨時議会

平成29年2月14日に臨時議会を開催した。
今年度は、1月から大雪になり、除雪費等補正予算が急遽必要となり、臨時議会を開催し対応した。
◎一般会計歳入歳出1千万円追加し37億9千万円とし、除雪委託費2,600万円増額。

新庁舎は旧江府中学校跡地に 平成32年度までに建設を決定

平成29年3月17日第3回庁舎等公共施設建設調査特別委員会を開催しました。

町民説明会を2日間にわたって開催し、4箇所の候補地について調査した。

- ① J A 江府支所購入
- ② 旧江府中学校跡地
- ③ 現庁舎地
- ④ 江尾駅周辺

①についてそれぞれ、慎重に審議調査し、課題として、隣接一級河川・国道出入り口・土砂災害警戒区域（イエロー）内等解消して、旧江府中学校跡地に次の理由に於いて決定した。

【理由】

- ①現在の庁舎は築60年を経過し、耐震化工事も困難であり、地震等の非常事態の際司令塔としての役場機能が果たせない状況が考えられる。
- ②職員の生命の危険性も想定され、災害時被災者の支援や生活維持に大きな支障をきたす可能性が大であり早急な対応が必要である。



新庁舎建設場所に決まった旧中学校跡（ドローンによる空撮）

- ③分庁舎の解消による業務の効率化と住民福祉の向上を図る。
- ④町有地で国道181号と接しており、交通の便も良い。
- ⑤「市町村役場機能緊急保全事業」が新設され、平成32年まで適用となる事から、この制度を利用して建設すべき。

陳情の審査結果

件名	審議結果
「沖縄の声に共鳴して地方自治の堅持を日本政府に求める意見書」の採択を求める陳情	不採択
テロ等組織犯罪準備罪（共謀罪）の創設に反対する陳情	継続審査
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	趣旨採択

《条例改正》

「議会広報特別委員会」を

「広報公聴常任委員会」とする

提出理由

江府町議会の活性化と情報公開を進めるため、議会広報特別委員会を広報公聴常任委員会とするため。

附則（施行期日）公布の日から施行し、以後一般選挙により選出された議員の任期から適用

江府町監査委員に岡田雄成氏を選任

2期6年間お世話になりました江府町監査委員砂原和省氏が3月18日任期満了となり、後任に岡田雄成氏を選任した。
(平成29年3月19日〜平成32年3月18日)



岡田雄成氏

全国町村議議長会表彰

町村議会議員として27年以上在職し永年にわたり地域振興に尽力され功績のあった3名の議員、森田智議員・川端雄勇議員・故田中幹啓議員が表彰された。



川端雄勇議員



森田 智議員



故 田中幹啓議員

常任委員会行政調査報告

(総務経済常任委員会)

移住定住について

2月22日、八頭郡智頭町も少子高齢化が進み現状を打破するため、智頭町では移住・定住対策に力を入れ、人口減少に歯止めを掛ける施策を行っている。主な施策を紹介します。

◎「集落支援」・集落が行う活動(ソフト)事業に最初2年間50万円、3〜10年は、25万円合計300円助成。

◎「地区支援」・地区が行う活動(ソフト)事業に最初2年間100万円、3〜10年は、50万円合計600万円助成。

◎「智頭町U・J・ターン住宅支援」・事業費の1/2補助等取り組んでいました。

平成22年〜現在まで88世帯208人の移住があった。おおいに参考になり、本町の移住・定住に向け、支援事業の充実を図りたい。

(教育民生常任委員会)

子育て支援について

1月19日島根県鹿足郡吉賀町に行政調査を行った。吉賀町は平成17年に旧六日市町と柿木村が合併し、吉賀町が誕生した。創生戦略で「子供を育み、子供と共に発展するまち」を理念とし。

①子ども医療費全額助成：高校卒業まで医療費自己負担部分全額助成。

②保育料完全無料化：一時保育も無料。

③給食費完全無料化：町内産の食料を提供。

この吉賀町の施策は大いに参考になりました。高齢者にやさしく若者に希望が持てる町づくりの施策を図りたい。

議会の映像化が実現

江府町議会は、住民のみならず、より理解して頂くために、3月定例議会から江府町のホームページに一般質問の動画を載せることになりました。是非多くの皆様に見て頂き、色々なご意見をお聞かせ願えればと考えています。

一般質問が動画で見れます



江府町のホームページ/
議会事務局へ

1. 江府町ホームページを開きます。
2. 議会事務局のページへ(右のようなページが出ます)
3. 「議会動画」をクリックします。



鳥取県江府町議会 動画 検索

URL <http://www.town-kofu.jp/2/1/10/>

ひとこと



いこいの広場らんちゅう
富田 稔

江府町で働いて

昨年の7月よりデイサービス「いこいの広場らんちゅう」で介護職員として勤務しております。介護の仕事の経験もなくゼロからのスタートでした。不安もたくさんありましたが管理者をはじめとした職員の方々や利用者さんに助けをいただきながら日々の業務を行っております。江府町という名前は知っていましたが実際に行ったこともなく、未知の場所でした。そんな中であつという間に10ヶ月が過ぎていきました。

初めての職種、初めての土地での就職、こんな自分

に勤まるのだろうかと思っております。介護の仕事は素人でしたので「楽しかった」「来てよかった」と思ってもらえるようにと心がけて仕事に取り組んできました。「あんたはらんちゅうの孫みたいなものだわ」と言っていたいた時には嬉しくもあり恥ずかしくもそのような気持ちになりましたがそんな声をかけてもらえるのも利用者の方のやさしさなのではと思います。

送迎の車中や施設内で利用者の方から「ここからの大山はとてもきれいな山」といふいろいろな事を教えてもらい少しずつ江府町の地理が分かるようになってきました。まだ行ったことのない場所もありますが機会を見つけて回ってみようと考えています。

介護職員としてまだまだ知識や技術も少なく日々勉強です。「らんちゅうがあつて良かった」と感じていただけるようにこれからも努力してまいります。



下安井 梅 靖子

江府町に惚れた理由

昨年12月、江府町の厳しい冬が始まった頃に夫と子ども3人で移住してきました。私は香川出身、夫は東京出身。江府町には何の縁もゆかりもありませんでした。お恥ずかしい話、私はこんな美しい雄大な大山という山の存在すら知らなかったほどです。

移住してきて夫婦共通して地元の方に聞かれること、それは「どうして江府町を選んだのか」ということです。一言で言えば水の良さに惹かれてということになります。もちろんそれだけではありません。人々の温かさ、身近な自然、子どもに対する見守りのまなざし、田畑の景色、そういった当たり前のことが、都会から

移ってきた私達には特別なものを感じているのです。子どもは今1歳ですが、この子が生まれた頃、私たちは東京の生活に疲れ果てていました。どこへ行っても人で溢れ、ビルの隙間から見える空はとても狭く息苦しい。人口が多いとそれに比例するように匿名性が高くなり隣人の顔も名前も知らない。便利の代償として目に見えない不自然さがありました。もちろん、東京での人の優しさに触れたことも何度もあります。しかしやはり、人は土から離れては本当の意味での豊かさは得られないのだと思います。この町でのご縁に感謝し、大切にしていきたいと思えます。



▼1月、2月の大雪も何処へやら、気温も上がり桜のつぼみも膨らんできて、春の訪れがもう目の前でありました。

▼念願であった庁舎建設の位置及び時期が決まりました。新設された有利な制度を利用して、旧江府中学校跡地に平成32年度までに新庁舎を建設します。この新庁舎が住民の利便性と福祉の向上に繋がることを期待するものであります。

▼我々議員の任期も2ヶ月程になりました。残された任期を活力と人が集う町づくりに全力投球する覚悟であります。

川端雄勇

議会広報調査特別委員会

- 委員長 上原 二郎
- 副委員長 三好 晋也
- 委員 川端 雄勇
- 三輪 英男
- 川上 富夫